

体育科学習指導案（略案）

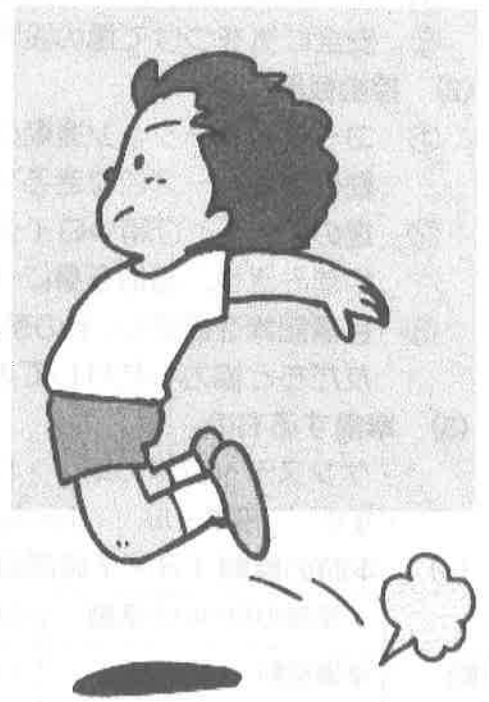
単元：「走りはばとび」

授業を行うにあたって・・・

本日はお忙しい中、二年次研究発表会に来ていただきありがとうございます。

本日の授業に向けて取り組んでいましたが、先週のインフルエンザに伴う学級閉鎖によって、思うように授業計画を進めることができませんでした。当初は、5/7時間目の展開を予定し、研究報告書に掲載しましたが、前述の事情により本時を3/7時間目で行います。また、雨天時の体育館内実施に伴い、場の設定に多少の変更がありますので、ご了承ください。

子どもたち一人一人が個々のめあてをもち、多様な場で走りはばとびの練習に取り組めます。体育館内での走りはばとびは、少し場が狭くなりますが、夢中になってとぶ子どもたちの姿をご覧ください。



授業者：仲本吏佐

上地真由美

体 育 科 学 習 指 導 案 (略案)

日 時 平成21年11月24日(火) 5校時
 場 所 与那国小学校運動場 (雨天時: 体育館)
 対 象 3年1組 男子 7名 女子 4名
 4年1組 男子 7名 女子 4名
 計 22名

指導者 (T1) 仲本 吏佐
 (T2) 上地 真由美



- 1 単元名 走りはばとび
 2 本時の学習と教師の指導と支援

(1) 本時のねらい

- ① よい助走や踏みきり、着地のしかたを身につけることができる。
- ② 安全に気をつけて場の設定をし、意欲的に記録に挑戦することができる。

(2) 授業仮説

- ① コーディネーション運動の基礎感覚づくり運動を行うことで、走りはばとびの基本的動きがスムーズにできるであろう。
- ② 場の工夫(とび箱やロイター板、段ボール箱を置くこと等)をすることにより、よい助走や踏みきり、着地を身につけることができるであろう。
- ③ 目標記録を設定し、その差で得点をつけ競争させることで、記録の向上のため努力したり、友だちと協力したりして走りはばとびの楽しさを味わうことができるであろう。

(3) 準備するもの

- ・ケンステップ用の輪 ・ロイター板 ・とび箱 ・ミニハードル ・高とびセット
- ・すず ・段ボール ・1mものさし ・マット ・タイマー ・資料掲示板 ・学習カード

(4) 本時の展開(3/7時間目)

		学習のねらいと活動	役割	教 師 の 支 援	評価と方法
開始前		準備運動 (駆け足縄跳び・ストレッチ)	T2	・足首、膝、腰を中心によく動かして、体を温めるようにし、運動への準備を整えさせる。	
			T1	・コーディネーション運動の場の設定確認をする。	
はじめ(10分)	五分	1. あいさつ 2. 本時の学習の確認	T1 T1	・健康観察、服装点検を行う。 ・本時の学習の流れを確認する。	・走りはばとびの楽しさを味わうために、自分の力にあった課題をもって、仲間と関わりながら進んで運動に取り組もうとする。 (関・意・態)
	五分	3. コーディネーション運動 ※グループごとに1つの場を1分間行う ①ケンステップ ②川跳び ③ミニハードル ④人間ラダー	T1 T1 T2	・コーディネーション運動の指示をする。 ・支援が必要な児童とともにコーディネーション運動を行い、リズムよく走ったり、跳んだりする感覚をつかませる。 [ケンステップ] →3歩助走での片足踏みきり、両足着地のリズムになることを確認する。 [川跳び] →片足で踏みきって両足で着地することを確認する。 [ミニハードル] →3歩助走で片足踏みきりをし、リズムよく高く跳ぶことを確認する。 [人間ラダー] →片足ずつで飛び越すことを確認する。	

観察

な か (三〇分)	五分	4. めあて1の確認 めあて1：どこまでとべるか、とび比べをする。 ○よい助走、踏みきり、着地を学ぼう。	T2 T1 T1T2	・いくつか例をあげ、児童が課題をもちやすくさせる。 ・学習ノートに自分が本時で気をつけることを書かせることで、自分の課題をしっかりと意識させる。 ・課題が設定できない児童への支援を行う。	・運動する場の安全確認ができる。 (関・意・態)
	一五分	5. 用具を準備する。 6. 各自のめあてをもとにグループごとに用具の調整をし、はばとびの練習をする。 ・ロイター板を使ったはばとび ・とび箱を乗り越えるはばとび ・段ボールとび越し ・すず打ち	T2 T1 T2 T1 T1 T2 T2	・友達と協力して、素早く準備ができるように声かけをする。 ・友だちと、とび方を見合ったり教え合ったりできるように、待機児童の配置を確認し、それぞれの場で良い点や課題を教え合い、話し合えるようにさせる。 ・それぞれの場で十分に活動できるよう声かけをし、タイマーの設定を行い場の移動がスムーズに行えるようにする。 ・ロイター板のバネをうまく使って、力強く踏みきる感覚をつかませる。 ・強く踏みきって空中にとび出し、空中フォームの感じをつかませる。 ・段ボールの並べ方、積み方を変えて、高く遠く跳べるように挑戦させる。 ・段ボールとび越しの着地がうまくいかないときは、段ボールを踏みつぶしてもいいことを伝える。 ・助走から踏みきった時に、高くとびあがるための姿勢に気をつけさせる。	観察 ・めあてを達成するため、多様な場での練習方法を学ぶことができる。 (思・判) 学習カード・観察 ・リズムカルな助走から力強く踏みきり、うまく着地することができる。 (技能)観察
ま つ め (五分)	一〇分	7. めあて2の確認 めあて2：目標記録をめざして、記録会をしよう。 8. グループで、記録会をする。	T1 T2 T1T2	・めあて2の確認をし、場の設定と役割分担の確認をする。 ・グループ内での役割の確認をし、ルールを守って記録会ができるように声かけをする。 ・記録をしっかりと学習カードに記入するようにさせる。	・ルールを守り記録会をし、楽しむことができる。 (思・判) 観察
		9. 学習のまとめをする。 ・各グループで今日の学習の反省と記録をまとめる。 ・各グループから代表が反省の発表を行う。 ・今日のMVP賞を発表する。 10. あいさつ、片づけ	T1 T2	・自己評価、相互評価(今日のMVP)を取り入れ、良かった点、がんばった点を認め合い、発表できるようにさせる。 ・遠くまでとんだことだけでなく、助走や踏みきり、着地が良くなった子や目標記録と差が縮まった子どもにも焦点をあてて、称賛する。	・友達のよい動きや態度を発表することができる。 (思・判) 発表 学習カード

(5) 評価① リズミカルに助走し、力強く踏みきることができたか。(技能)

② 友だちと協力し、場を設定したり、目標記録を達成できるよう意欲的に記録に挑戦することができたか。(関・意・態)

③ 助走や踏みきり、着地に気をつけて、自分の課題を見つけ、練習に取り組むことができたか。(思・判)

「走りはばとび」の体育館における場の設定

舞 台

舞台側は会場設営のため椅子や机がセッティングされている。

